

## 第2回 協議会資料 【調査・解析 編】

平成17年12月18日

# 目 次

1. 本年度調査の概要 .....	1 - 1
2. 調査・解析結果 .....	2 - 1
2.1 ボーリング調査結果概要 .....	2 - 1
2.2 処分場周辺の地形・地質概要 .....	2 - 3
2.3 処分場付近の地質状況 .....	2 - 7
2.4 処分場付近の岩盤状況 .....	2 - 12
2.5 処分場付近の岩盤の透水性 .....	2 - 17
2.6 処分場付近および周辺の地下水等状況 .....	2 - 21
2.7 処分場付近の地下水流況シミュレーション .....	2 - 28
2.8 処分場の安定性 .....	2 - 29
2.9 総合解析 .....	2 - 31
3. まとめ .....	3 - 1

1 本年度調査の概要

検討項目	要 点	備 考
<p>1.1 本年度調査の概要</p> <p>前回の報告内容</p> <p>今回の報告内容</p>	<p>本年度の調査は、平成16年度の調査結果を踏まえて実施した。調査目的ならびに方法を図-1.1.1に、調査地点位置を図-1.1.2、写真-1.1.1に示す。</p> <p><b>【目的】</b></p> <p>〔地形測量〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処分場の現況地形および処分場周辺の地形の把握</li> </ul> <p>〔廃棄物分析〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の種類・性状・成分の把握</li> </ul> <p>〔調査・解析〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土砂の分布の把握</li> <li>浸出水の漏水経路の把握</li> <li>処分場下の地質状況、岩盤状況および透水性の把握</li> </ul> <p><b>【方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地形測量</li> <li>ボーリング調査(B)</li> <li>廃棄物分析</li> <li>高密度電気探査</li> <li>弾性波探査</li> <li>ボーリング調査(D)</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <p><b>【処分場内の廃棄物の種類・性状・成分の把握】</b>          廃棄物の種類： 土壌・その他、 ガラス陶磁器くず、 廃プラスチック（合計で約9割）          廃棄物の成分：一部で鉛が基準値を超過。その他は全ての項目で基準値以下。</p> <p><b>【土砂層の分布状況の把握】</b>          処分場南側の土砂層は、最大層厚が60m程度で南側ほど薄くなる。この土砂層は、処分場の遮水シートの下位の岩盤との間にも分布する。</p> <p><b>【浸出水の漏水経路の把握】</b>          高密度電気探査結果による低比抵抗帯の分布状況から、処分場の下位には電解質に富む地下水の存在が示唆され、この付近から木の芽川方向に向かう浸出水の漏水経路が考えられる。木の芽川の対岸まで連続する低比抵抗帯の分布は認められない。</p> <p><b>【処分場下の地質・岩盤状況および透水性の把握】</b>          処分場下の地質は頁岩を主体とし、一部でひん岩の岩脈が貫入する。処分場下の岩盤は、全体に新鮮・堅硬な岩盤状況を示す。処分場下の岩盤の透水性は、全体的に低い傾向を示す。</p> <hr/> <p><b>【目的】</b></p> <p>〔調査・解析〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処分場周辺の地盤の地質分布・地質構造の概況把握</li> <li>処分場周辺の岩盤状況および透水特性の把握</li> <li>処分場内の保有水位および処分場周辺の地下水水位（水理地質構造）の把握</li> <li>保有水、周辺地下水の水質の把握</li> <li>処分場周辺における地下水流動状況の把握</li> <li>処分場の安定性の確認</li> </ul> <p><b>【方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地表地質踏査</li> <li>ボーリング調査(A・C)</li> <li>地下水水位観測</li> <li>水質分析</li> <li>地下水流動シミュレーション</li> <li>土質試験</li> </ul> <p>総合解析</p> <p>今回報告する内容</p>	<p>図-1.1.1：本年度調査概要          図-1.1.2：調査地点位置図          写真-1.1.1 調査地点全景</p> <p>鉛基準値：0.3mg/L          （特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法による有害産業廃棄物とされる基準値）</p> <p><b>【本年度実施数量】</b></p> <p>地形測量          S=1/500:A=0.22Km<sup>2</sup>          S=1/1000:A=1.05 Km<sup>2</sup></p> <p>ボーリング調査B：9孔          廃棄物分析（種類、性状、成分）          高密度電気探査：2測線          弾性波探査：8測線          ボーリング調査D：3孔          （ルジオテスト：34回-D）</p> <p>地表地質踏査範囲：3km<sup>2</sup>          ボーリング調査A：15孔          ボーリング調査C：4孔          （ルジオテスト：215回-A,C）          地下水水位観測：33地点          水質分析：40地点          （ボーリング孔）</p>

図-1.1.1 本年度調査概要

1 本年度調査の概要

検討項目

要 点

備 考

1.1 本年度調査の概要

表-1.1.1 ボーリング調査数量一覧表

種別	掘進長	水位観測	土質試験	廃棄物分析	水質分析	ガス分析
処分場内 ボーリング調査B	Hb1	(45)	-	-	-	-
	Hb2	(33)	-	-	-	-
	Hb3	(17)	-	-	-	-
	Hb4	45	-	-	-	-
	Hb5	28	-	-	-	-
	Hb6	29	-	-	-	-
	Hb7	18	-	-	-	-
	Hb8	15	-	-	-	-
	Hb9	17	-	-	-	-
	Hb10	13	-	-	-	-
	Hb11	20	-	-	-	-
	Hb12	16	-	-	-	-
	揚水井戸	-	-	-	-	-
処分場下 ボーリングD	Nb1	110	-	-	-	-
	Nb2	85	-	-	-	-
	Nb3	120	-	-	-	-
処分場周辺 ボーリング調査A	Sb1	(80)	-	-	-	-
	Sb2	(60)	-	-	-	-
	Sb3	100	-	-	-	-
	Sb4	75	-	-	-	-
	Sb5	70	-	-	-	-
	Sb6	60	-	-	-	-
	Sb7	80	-	-	-	-
	Sb8	80	-	-	-	-
	Sb9	110	-	-	-	-
	Sb10	90	-	-	-	-
	Sb11	135	-	-	-	-
	Sb12	70	-	-	-	-
	Sb13	85	-	-	-	-
	Sb14	110	-	-	-	-
	Sb15	82	-	-	-	-
	Sb16	100	-	-	-	-
	Sb17	100	-	-	-	-
木の芽川護岸 ボーリングC	Kb1	(44)	-	-	-	-
	Kb2	(58)	-	-	-	-
	Kb3	30	-	-	-	-
	Kb4	30	-	-	-	-
	Kb5	45	-	-	-	-
	Kb6	50	-	-	-	-
集水井戸	-	-	-	-	-	
堰堤下部	-	-	-	-	-	
合計	31孔 2,018m (7孔) (337m)	33孔	4孔	12孔	40孔	18孔

\* ( ) 内の数値は、過年度の調査数量

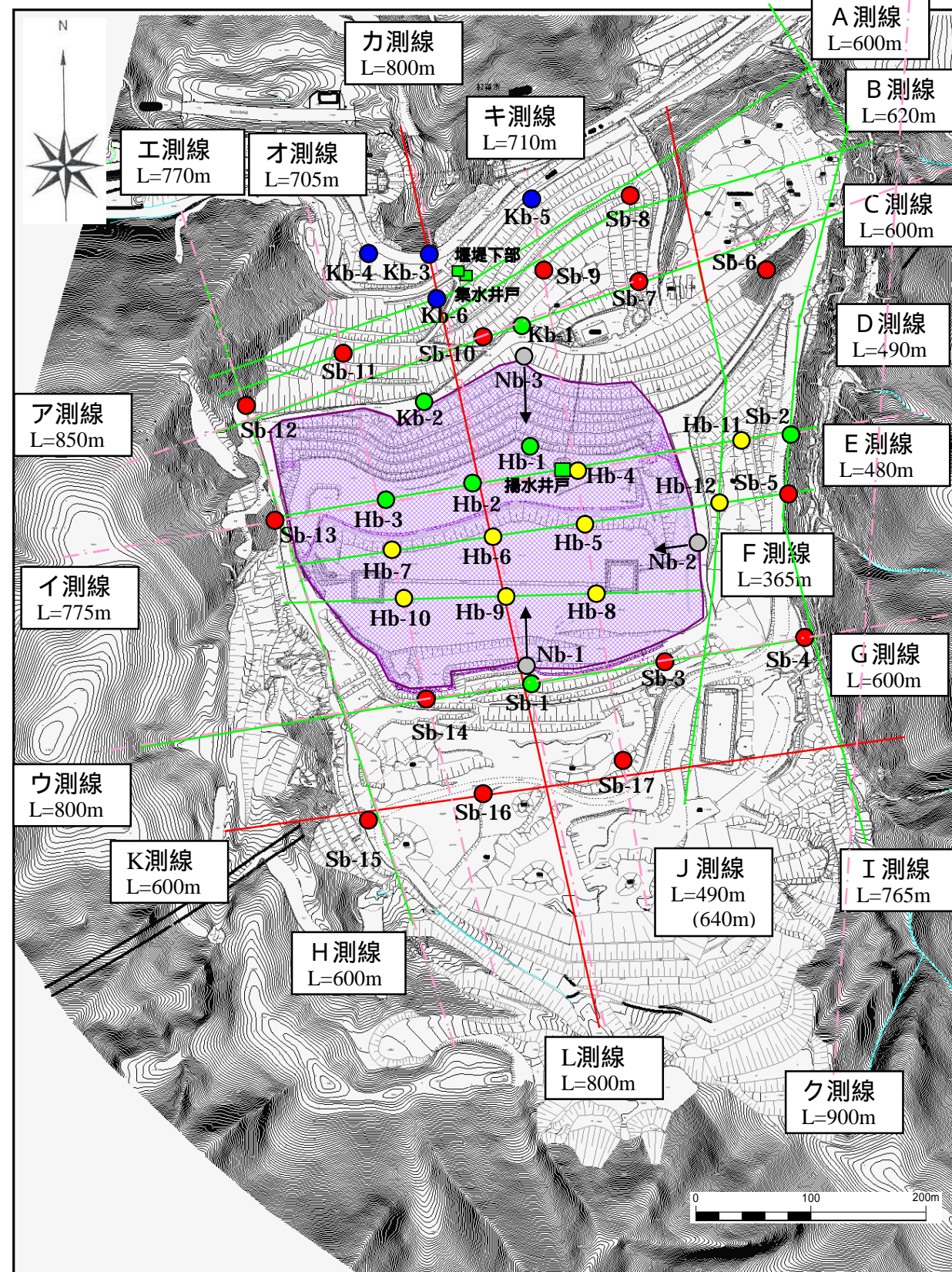


図-1.1.2 調査地点位置図

表-1.1.1 ボーリング調査数量一覧表

図-1.1.2 調査地点位置図

凡 例

- : ボーリング調査B (処分場内: Hb3-12)
- : ボーリング調査D (処分場下/斜め: Nb1-3)
- : ボーリング調査A (処分場周辺: Sb3-17)
- : ボーリング調査C (木の芽川沿い: Kb3-6)
- : ボーリング調査(既往調査: Hb1-3, Sb1-2, Kb1-2)
- : 揚水井戸等(その他の採水地点: 3箇所)
- : 電気探査測線(本年度実施分: J, K, L)
- : 電気探査測線(既往調査実施分: A~J)
- - - : 弾性波探査測線(ア~ク)
- - - : 北陸トンネル位置
- : 廃棄物埋め立てエリア

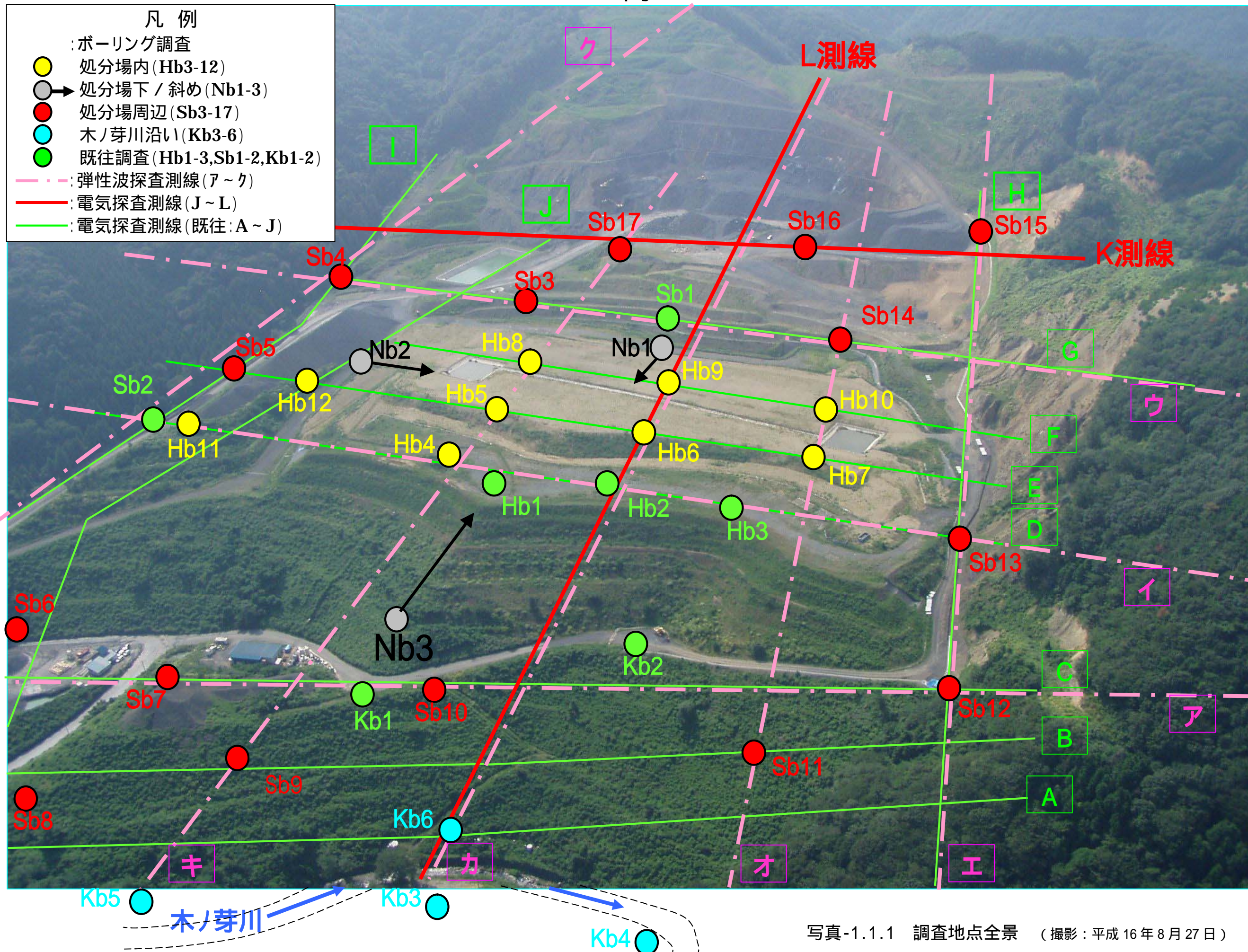
南

凡例

- : ボーリング調査
- (黄) 処分場内 (Hb3-12)
- (白) 処分場下 / 斜め (Nb1-3)
- (赤) 処分場周辺 (Sb3-17)
- (青) 木ノ芽川沿い (Kb3-6)
- (緑) 既往調査 (Hb1-3, Sb1-2, Kb1-2)
- (紫点線) 弾性波探査測線 (ア~ク)
- (赤実線) 電気探査測線 (J~L)
- (緑実線) 電気探査測線 (既往: A~J)

東

西



木ノ芽川

写真-1.1.1 調査地点全景 (撮影:平成16年8月27日)